

ユニオンファンド 月次レポート

第 182 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年1月10日作成

MONTHLY TOPIC

2024年の展望

新年早々、石川県能登半島を震源に大地震が発生しました。亡くなった方のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く元の生活に戻れますようお祈りしています。

.....

不確定要素

私はしばしば慎重なコメントを書きますが、それは、よからぬことが起こりうるとあらかじめ知っていれば、何かあってもショックが軽くて済むかもしれないからです。投資に慣れていない人たちが価格変動に恐れをなして、せっかく始めた長期の株式投資を中断するのはあまりにももったいない話です。ということで、今年の市場に大きな変動をもたらす可能性がありそうなことについて、いくつか考えてみます。

・「選挙イヤー」 …今年には世界の70以上の国と地域で大統領選挙や国政選挙が行われます。このうち最大の焦点は何と言っても米国大統領選挙です。民主党の現職バイデン大統領に、前大統領である共和党のトランプ氏が挑む形にどうやらなりそうです。両党の政策は近年かなり大きく異なっていることから、同時に行われる上下両院の議会選の結果も含め、市場は大きく反応しそうです。このほか台湾総統選挙（1月）、ロシア大統領選挙（3月）、欧州議会選挙（6月）も注目されます。投票前に当選者が決まっていると言ってもよい選挙もありそうですが。

・「米国経済」 …米国経済は多くの投資家が考えているほど堅調ではないかもしれませんし、インフレ率も金利も期待ほど低下しないかもしれません。金利が低下したとしても、景気が悪化すれば株価下落の可能性は増します。米国株は予想外の動きを見せる可能性があります。米国金利の低下で円安基調が円高に反転することも考えられます。

・「異常な高温」 …昨年の異常な暑さは日本だけでなく世界でいろいろ問題を起こしましたが、高温状態は現在も続いています。赤道周辺の熱帯地域（ここでは北回帰線と南回帰線の間）では、気温が平年を引き続き大きく上回っていますし、地球全体で見ても平年を上回る状態が続いています。このままだと今年もひどく暑い夏になるかもしれません。異常気象による人的被害や農業への悪影響などが無いことを願っています。

「雑音」とそれへの対応

1987年の「ブラックマンデー」では、ダウ平均株価が1日で23%近くも下落して大騒ぎとなりましたが、株価の動きを今振り返ってみますと、どこが大暴落だったのか見分けられないほどの小さな凹みに過ぎません。今後も経済は成長し企業業績も拡大が続いていくでしょうから、こうした様々ないわば「雑音」は無視した方がよいでしょう。ましてつみたて投資を続けるなら、株価下落は口数を増やすチャンスです。平穏な上昇が何よりではあるでしょうが、資産を作っている最中の皆さんは、下がったら下がったで、むしろ先の楽しみが増えるくらいに思っていたのであれば幸いです。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2023年12月末現在)

基準価額

34,905 円

純資産総額

124 億 42 百万円

期間別騰落率(%)

1 ヶ月	1.09%
1 年	19.62%
3 年	27.18%
5 年	64.29%
10 年	80.90%
設定来	249.05%

複利年率(%)

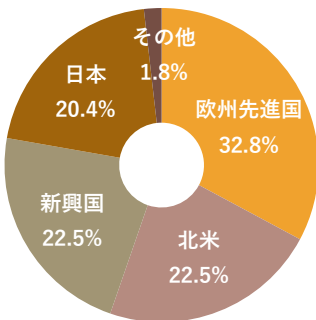
8.57%

* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

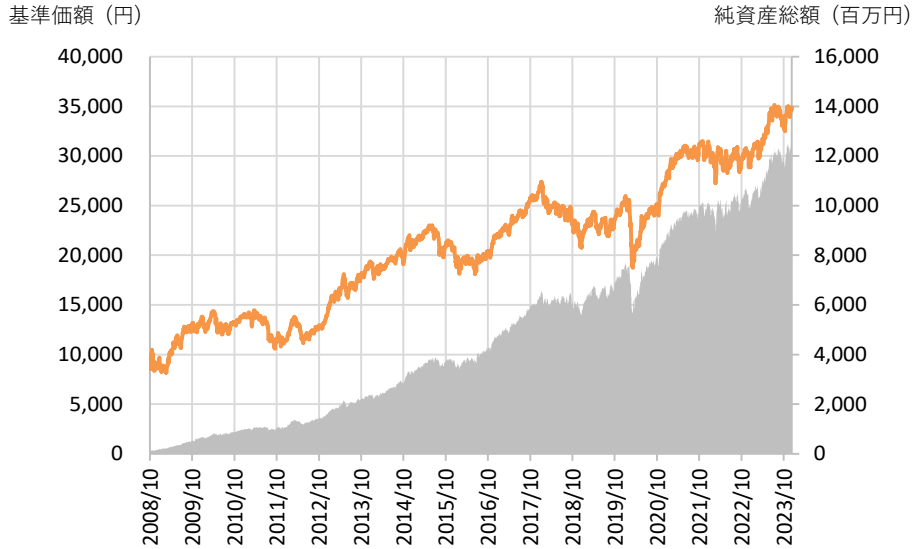
* 設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2023年11月末現在)

基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.8%	0.7%
スパークス F	日本	12.3%	2.6%
キャピタル F	欧米	18.8%	0.5%
ハリス F	欧米	19.3%	3.8%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	12.7%	3.0%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.0%	-1.9%
現金等	-	14.2%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2023年12月の市場動向と運用状況

投資環境

2023年12月の世界の株式市場は、米国を中心に好調でした。ただ、為替市場では米国金利の低下予想から円高が進んだため、外国株を円換算すると上昇率は大きく削がれて小幅高にとどまりました。

米国株はダウ平均株価が史上最高値を更新するなど好調でした。FRB（連邦準備制度理事会）のパウエル議長が「利下げが視野に入り始めている」と発言したことなどをきっかけに、金利低下予想が広がったことが背景です。一時5%近辺まで上昇していた長期金利（10年物国債利回り）も4%割れまで一気に低下し、株式の相対的魅力が回復するとともに、景気へのプラス効果が期待されました。

欧州でも、インフレ率の低下を受けて ECB（欧州中央銀行）のメンバーから利上げ停止を容認する発言が増え始め、ドイツでは株価指数が一時史上最高値を更新しましたが、景気の弱さも無視できず、中旬以降は全体に伸び悩みました。新興国では、インド、ブラジル、メキシコなどで株価が非常に好調でしたが、中国株の不振が続いたことから、欧米先進国に比べて小幅な上昇にとどまりました。日本株は、米国株の堅調を好感する一方、円高を嫌気した輸出関連株の不調などから、ほぼ横ばいでした。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は小幅に上昇しました。ただ、やや多めに組み入れている新興国株が円換算で下落したことなどから、市場全体の動きに若干出遅れました。

売買は見送りました。月末の組入比率は85.8%と、ほぼ前月並みでした。

今後の見通し

インフレは今後も落ち着く方向にあると見ていますが、一本調子で低下し続けるかどうかはやや疑問があります。たとえば、サービス業の賃金を押し上げた要因の一つである雇用のタイト感はずっと解消する状況ではありません。インフレ低下が金利低下を通じて株価を押し上げ続けるとしても、勢いは鈍りそうだと見ています。

ここまで株価の反発を支えてきた金利低下は、インフレ率低下の結果ですが、景気が減速しているためでもあります。やや細かい話になりますが、11月以降の長期金利（名目値）の低下をインフレ予想と実質金利の二つに分解しますと、インフレ予想の低下よりも実質金利の低下によるところが大きかったことがわかります。実質金利の低下は、将来の景気への重荷を減らすというプラスの面を持っていますが、足元の景気の弱さの反映であるというマイナスの意味合いもあると考えられます。今の米国株式市場に広がっている楽観は、足元の景気の弱さを軽視し、見かけのインフレ率の低下を過大評価している可能性があります。投資家の楽観を反映して心理指標は強気の充満を示唆していますし、株価の割安・割高の程度を測る指標は、引き続き株価が割高であることを示しています。

加えて、今年は世界中の非常に多くの国で大統領選挙や国政選挙が行われる予定ですが、これが不透明感を高める可能性があるとして話題になっています。中でも米国の大統領選と議会選は、二つの政党間で政策の方向が大きく異なるため、選挙結果次第で世界に様々な影響をもたらす可能性が大きいと見られます。以上のように不透明感が強い場合、下落局面での買い増しを視野に入れつつも、当面やや慎重な投資姿勢で臨む考えです。

運用責任者 久保田徹郎

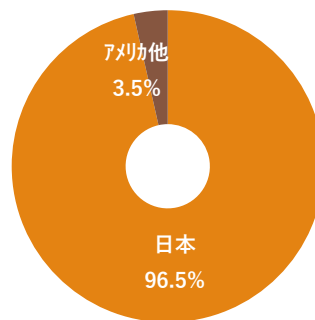
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



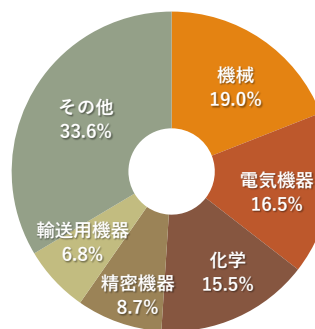
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	5.0%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	4.0%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 ダイキン工業	3.7%	日本	機械	エアコン世界首位
4 プリチストン	3.5%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 テルモ	3.4%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
6 トヨタ自動車	3.3%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
7 浜松ホトニクス	3.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 INPEX	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
9 花王	2.1%	日本	化学	トイ列一位
10 ニデック	2.0%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
上位10銘柄	32.4%		現金等	13.2%

業種別構成比



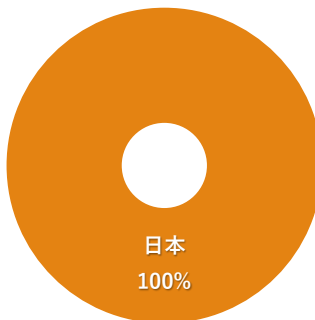
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年12月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



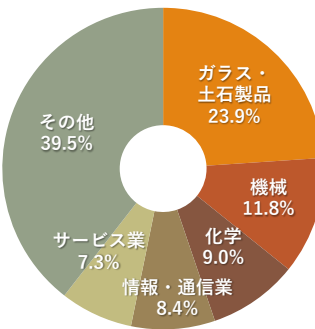
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スーブレー
ペイカレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
サイゼリヤ		日本	小売業	ファミリーレストラン
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
現金等	7.0%			

業種別構成比(マザーファンド)

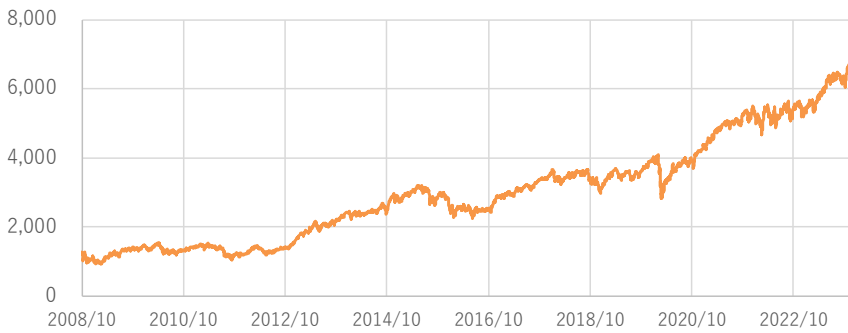


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2023年11月末現在 >

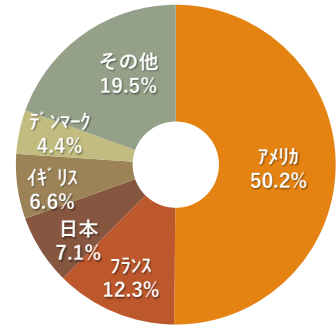
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



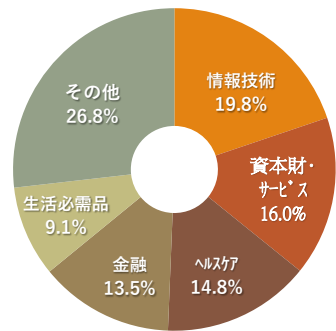
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	3.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Microsoft	2.8%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
3 Broadcom	2.3%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 Alphabet	2.3%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
5 Apple	2.1%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 Safran	2.0%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
7 ASML	1.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
8 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
9 TotalEnergies	1.6%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10 SAP	1.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	20.9%	現金等	5.4%	

業種別構成比



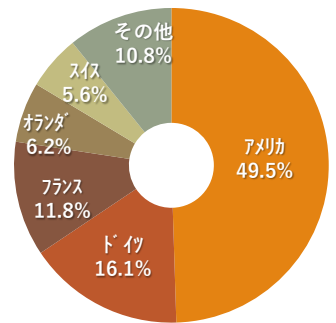
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年11月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



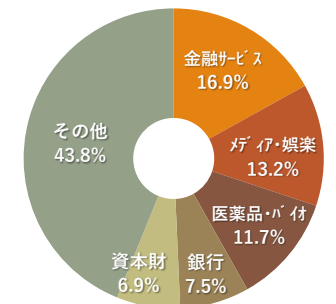
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CHARTER COMMUNICATIONS	3.8%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
2 BNP PARIBAS	3.8%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 ALPHABET	3.7%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
4 CAPITAL ONE	3.6%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード事業等
5 FISERV	3.6%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
6 CNH INDUSTRIAL	3.4%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
7 IQVIA	3.4%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
8 MERCEDES-BENZ	3.4%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
9 BANK OF AMERICA	3.4%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
10 FRESINIUS	3.3%	ドイツ	ヘルスケア機器・サービス	透析医療サービス関連製品
上位10銘柄	35.5%	現金等	4.2%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年11月末現在>

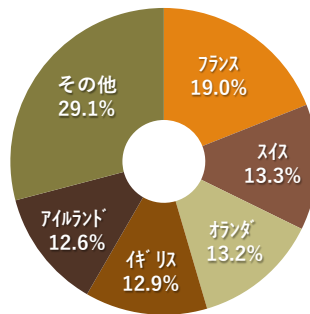
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



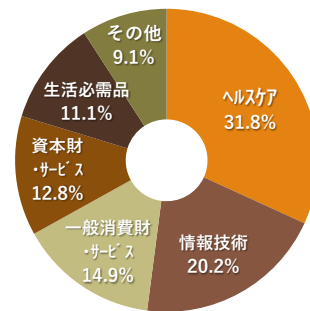
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	7.8%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	7.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ESSILORLUXOTTICA	4.6%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 ACCENTURE	4.5%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
5 LINDE	4.4%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
6 EXPERIAN	4.0%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 STRAUMANN HD	4.0%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
8 LVMH	3.5%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
9 ALCON	3.5%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
10 DASSAULT SYSTEMES	3.2%	フランス	情報技術	欧州大手3Dソフトウェア会社
上位10銘柄	47.1%		現金等	3.7%

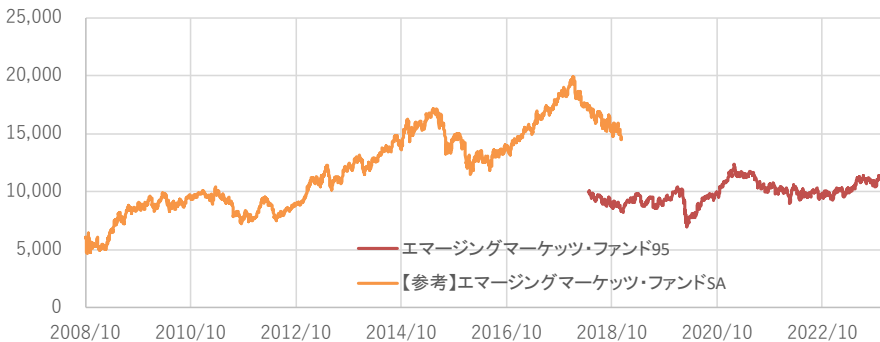
業種別構成比(マザーファンド)



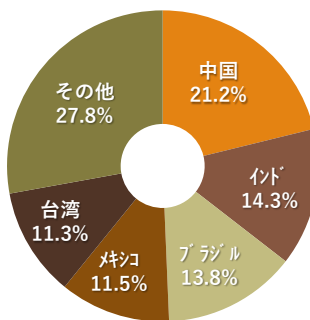
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年12月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



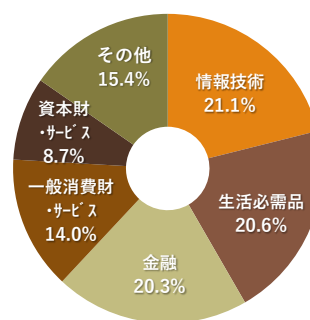
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	6.3%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 FOMENTO ECONOMICO	6.2%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.7%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 HDFC BANK	4.9%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
5 DELTA ELECTRONICS	4.8%	台湾	情報技術	電源、変圧器
6 MERCADOLIBRE	4.8%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
7 Wal Mart de Mexico	4.2%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
8 INNER MONGOLIA YILI	3.9%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
9 MARUTI SUZUKI	3.7%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
10 TENCENT	3.6%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
上位10銘柄	48.1%		現金等	1.6%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2023年12月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改訂について

2023年12月23日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたしました。

詳しくは、前回のレポートおよび弊社ホームページに掲載しております目論見書の最新版をご確認ください。

取引残高報告書について

今回、「2023年10月～12月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2023年12月29日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

【NISA口座をご利用のお客様】

取引残高報告書の「お預り証券等の残高明細」の次項で、その年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます（2024年の情報は、2024年3月末作成分から記載されます。）。

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書（圧着はがき）」においても、NISA口座でお取引された場合には、その年の作成日現在の残り「非課税ご利用可能額」をご確認いただけます。

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。